

町政座談会（日和地区）

日 時 令和6年1月27日（月）
16:30～20:00
場 所 日和公民館

1. 町長あいさつ

皆さん、こんばんは。町長の大屋です。就任しまして、皆さんの声を聞かせてくださいと、選挙で関心を持っていただいたので、非常に人口が少なくなる中で、やはり皆さんに感心を持っていただくということが、これからの町づくりで一番大事なので、まず町の持っている情報を伝えます。そして、皆さんもそれに関心を持っていただいて、いろいろな意見を出していただきたいですというお話をしました。その中で、町政座談会というのは、公民館単位で今までずっとやってきておられましたので。なかなかいい時期がなくて、この時期になりまして、一番寒い時期に開催することになりましたが、こうやってたくさんの方に集まっていただきまして、大変ありがとうございました。

最近、公民館の使い方が、横に広く座る形が多くて、すみません。右見たり、左を見たり、どこを見てしゃべればいいのかと思うんですが、だんだん身体の向きが片側だけを向いてしゃべるかもしれませんが、決してどちらかを中心という意味ではありません。こうやってたくさん来ていただきましたので、皆さんの顔を見ながらお話できればと思っています。

年が明けまして、若干このところ、日が長くなった気がしています。5時半くらいまで外におれるかなと思ったのが、6時近くまでになってきました。元々、仕事が農業であり、冬場はほぼほぼ動かない中で、少しずつ日が長くなってくると意欲が出てきて、やる気がでてくる気がしています。ちょっと寒い時期ではありますが、だんだん春に向かって、町でいいますと来年度の向かってというところです。

年明けの職員の皆さんへのあいさつでも、町として年が変わるのは、それぞれの皆さんの気持ちの中で大事なこともかもしれませんが、町としたら年度が一番大事なので、まずは本年度の仕事をきちんとしましましょう。そして、来年度の準備を併せてやりましょう。非常に大変だけど、頑張りましょうというあいさつをしました。

私自身も、今、本年度の大型事業、病院や中学校、特に道の駅の最後の仕上げに入っています。霧の湯についても、この4月から再開できるように準備をしています。併せて、来年度予算の査定準備中です。なかなか厳しい中で、思いが少しでも叶えられるようにということでやっていますが。いろいろな場面で一番聞かれて、答えが難しいなと思ったのが、財政の大変さをどうするのかという道筋をきちんと示してほしいと言われると、以外と難しいなと思っています。今、ちょうど12月議会での一般質問のやりとりも宮田議員さんがおられて、今日はちょっと、どなたか覚えがないんですが、議会の中でも聞かれて、たぶん一番自信がなさそうにしゃべったのが、そこかなと思っています。

今回も、特に資料はつけていないんですが、何となく雰囲気、大型事業が続いて町の財政が大変だよなという雰囲気があるのでいいかなと思って、敢えてつけていませんでしたが、改めて聞かれると難しい話だなと思っています。

町の中でも財政について、プロジェクトチームをつかって、職員さんの間でも議

論して進めてくださいとお願いしましたが、やはりその中でも、どこが大変で何を目標にするのかという話が出ます。町の予算で財政が厳しいのがわかりにくいのは、収入がまずわからない。出て行くのはわかりやすいけどもということがあります。皆さんにとってもそうなんだと思います。

併せて、町の財政が大変であって、そうすると皆さんに対して何が起こるのか、どうなってしまうのか。極端に言うと、町が潰れるんですかと言われます。潰れることはないですよ。職員の給与も上げてきています。そこで厳しいですということも変なんですけど、民間なら違うだろと言われますが、職員の給与はルールに基づくところがあるので、そこはそこです。

町の財政でわかりにくいなと思うのは、町に入る税金が少ないのは皆さんわかっていただいております。だけど、足りないのは国がみてるんだろという感じなんだと思います。

実は、交付税ということで国からきますが、決まった計算でくるのに町が好き放題やって、足りない分をくださいという世界ではないです。お宅の町は、このくらいでできますよねという計算があって、もらっています。邑南町で言えば、70億円前後がこの町の予算規模ですよと言われていています。町の最低限の事業をするのに、70億円あればいいですよ。だから、皆さんからの税金が10億円あれば、足りない60億円を交付税で出しますよということですよ。

ただ、実際の町の財政がそれ以上にあるのは、補助金があったり、この地域特有の中山間直接支払いなど、そういうものがあるので、最終的に120億円、130億円になるんだと思います。今、大型投資が続いているので、180億円くらいになりますけど、来年も180億円の収入があるわけではないです。来年は建物を建てないので、その分減ります。

一般的に、皆さんの生活の中で電気代だとか、年金を払わないといけないとか、家賃、交通費やガソリン代がこれだけかかるというのは、お子さんに仕送りをするような感じで、このくらいあるといいですよという形で計算されてくるので。アルバイトをして頑張れば、仕送りが減らされるというような仕組みです。全額自分でできるんだったら独立してねというのが、今の仕組みなので、どうしても人口が減って入るお金が少なければますます厳しくなる。出る方については、皆さんと一緒に、物価も上がれば人件費も上がるので、そこをどうやってするのかと言えば、やはり努力していかないと厳しいのかなと。

特に、債権という言葉を使ったので、何が大変かというのは、今、道の駅とか中学校の建て替えをしていますが、借金を返すのは5年間据え置きがあるので、6年後くらいです。次の世代とは言い過ぎですが、トータル25年くらいかけて返すんだと思います。その当てがあるわけじゃないです。その時の人が頑張るってねというのが今の状況です。そう思えば、財政をある程度やり繰りしないとダメだし、将来のためにもきちんとしてないと先々の人も困りますよということで、財政再建と言っています。

町がそれをしないと、皆さんの生活がどうなるかということ、今日も副町長という話をして、もう少しいろいろなことを職員の中でもわかりやすくするといいよねと。例えば、水道代は皆さん高いと思われるか安いと思われるかは別ですが、かかる経費の、本当はいただかないといけないお金の半分しかいただいけません。言い方がちょっとごめんなさい。半分しかという言い方がどうかはありますが。収入が町として5億円くらいで、実際は10億円かかっていることは、水を提供する

のに10億円かかるけど、料金は5億円ですよということです。そうすると、町のお金がなくなれば、かかる経費は変わらないので水道料金を上げるしかないですよという話になります。なので、町の運営をきちんとしないと、皆さんの生活の負担がどんどん増すということです。今、払っているお金で全てが賄えているわけではないです。ただ、町としては、町も努力しなきゃいけない。かかる経費の半分しかいただいてないなら、その差額は自分たちがきちんと努力しないと、どんどん町の運営は大変になるというのを、職員の中、役場の中で考えないといけいことです。そういう両面があって財政再建をと、まず言っています。

資料にいく前に、少し最近、感じることについて話をさせてください。よくいろいろなところで農業の話が出ます。つくる方の方もおられると思いますし、買う方の方もおられると思います。米もむちゃくちゃ高いですし、野菜も販売価格は過去に例を見ないくらい高いです。道の駅も、いろいろな小売店も、販売価格は毎年の中で最高額ですと言いまけど、量が多いより単価が高くなっているんだと思います。これだけ米が高くて、野菜の値段も高ければ、もう少し意欲を持っていただいて、この春には米を増やそうとか、野菜をちょっとつくってみようとか、仕事の合間にもうちょっとと思われるといいんですが。実は、そんな声はほとんど聞かないです。それほどに非常に高齢化していたり、今までの疲弊が強すぎて、その意欲まで結びつかない。若しくは、勤めている人も精一杯なんだと思います。昔は少し、小遣い稼ぎとか。どういう表現をしていいかわからないですが、そういうことをされていた方も多いいんだと思います。

道の駅もよくなるので、本当なら、少し多くつくってみようとか、山に行っ木枝とか葉っぱも売れるので、そういうものを取ってきて売ってみようとか、何か加工品をつくってみようとか。意欲が、貪欲なものがもっとあったと思うんですが、今そういう思いを持つ年代の方が年を取られてきたというのもあるし、若い人もそういう余裕がない。道の駅もよくなるし、今、チャンスは非常に大きいんだと思っています。そうすると、予算でどういう形にできるかどうか別ですが、少し皆さんの背中を押せるようなことができるといいかなと思っています。野菜つくって下さいと言って難しかったら、苗で配れば、種を配れば、ちょっとやってみようと思われるんだしたら、そういう仕組みがあってもいいかもしれない。それは、町がやるのか雲井の里さんか、道の駅さんがやられるのかというのもありますが、何かそういうことをしないと苦しくなってきたかなというのを非常に感じています。

もう一つ、最近、急激に変わったわけではないですが、いろいろな会社の方とかいろいろな方と話をする中で、邑南町の中では非常に人手不足です。今ある事業所さん、特に医療福祉系を中心に人手不足です。それはそのまま皆さんの生活に影響していますし、賃金のアップにもつながらないので、その影響は特に若い世代にしわ寄せがいくので、非常に悪循環が起こっています。企業誘致すればという声もあります。江津とか、企業団地に、こんなにあってどうなるんだろうと思っていたら、徐々に埋まりつつあって、新しく団地をつくるような時代です。ただ邑南町の中で、そういうのが良いのかと思ったときに、今、ここで人がいなくて、地元の会社も事業所も人手が足りないのに、そういうのをつくればUターンEターンが進むと言われても、ちょっといいのかな？という思いがあるんです。ITとかインターネットでプログラムをつくるような人たちは、技術をもつ人たちがここに来て、自分たちが仕事をされるというのはいいいんだけど、なかなか難しいかなと思ったときに一方で、矢上高校が地元にあります。石見養護学校もあります。今までは、そこに何人

が入りました、定員を満たしました、県外からこれだけ来ました、お金をこれだけかけました。というのはあるんですが、その人たち県外の方は、ほぼほぼ全員、地元に戻れません。町外の方も帰られる。地元の方も進学で出られて、なかなか帰ってもらえない。と思えば、その人たちがもう少しこの町に残ってもらえる、関係を持って将来この町のために働いてもらえる、地域の担い手になるという仕組みをつくらないと、人手不足の根本も定住も、人口問題も解決しないと思っています。その仕組みに力を入れればよいなど。

すごい極論です。全国的に進学率が上がって大学に行きましょう、専門学校に行きましょうという風潮です。ただ子育てをするときに、この町の若い人、僕たちもそうですけど、今、3人、4人お子さんがおられる方はたくさんいますが、非常に負担です。それが当たり前と言われても負担なんだと思うんだけど。一方で、大学とかに行かなければ取れない資格なら別だけど、この町で働いて、この町で暮らしていきたいという思いがあれば、特別、大学や専門学校に行かなくても、高校を出てそのまま残ってもらって、それをしっかりサポートできる仕組みがあってもいいのかなと思っています。選択肢の一つとしてということです。出て行くとか、学校に進学するのが一番いいんだというばかりじゃないのかなと。高校はどうしても進学実績を見られて、いい高校とそうじゃない高校と分けられるけど、そういう時代でもなくなってきたのかなと思っています。あくまでも選択肢ですし、また、皆さんがそうじゃないよとか、そうだよとか、いろいろな声を聞きながら、これから予算化するとか、考え方の中でやっていければと思っています。ちょっと一方的にいろいろな話をしたんですが、せっかく資料をつくってきたので、資料の説明をさせていただきます。

表紙のところに町長への手紙と書いています。QRコードです。使える方と使えない方とおられるかもしれませんが、これを読み取っていただければ、皆さんの前でしゃべるのは恥ずかしかったりとか、時間がなくて言えなかったということを少しでも書いてもらって、スマホで送ることができます。名前やメールアドレスがなくてもいいので。12月の町の広報に町長への連絡方法ということで、FAXとか意見箱の案内をしたんですが、ちょっと目につきにくかったり、今の時代にFAXを使う時間でもなかったり。なかなか届かないので、今回はこういうことをしてみました。興味があったら使っていただければいいですし、そうじゃなかったら、普通に文章を書いてもらったり、口頭でもいいので、公民館でも役場でも直接言ってもらえればありがたいです。何らかの方法でまた、思いを伝えていただければと思います。

今後取り組んでいくことということで、ざーっと書いています。全部説明すれば、長くなりますし、最初に話をしたのが基本となって書いています。小中学校の統廃合も全体では進めていかなければいけないと思いますし、それに関わる部分、児童クラブや給食センターのことも考えないといけない時期になってきたかなと思います。

一方で、公共施設の統廃合で自治会館や斎場と書いていますが、それぞれに議論していただいて、使わなくなってくれば廃止、解体にしていきたいと思います。町の施設、どれもほぼ年数が経って古いものばかりなので整理していかなければいけないところもありますが、皆さんと話をして、もう使わないと言われた建物が民間企業とか他の使い道があれば、その可能性も探って、きちんと定住や産業振に使えるかどうか調べながら、統廃合の整理をしていければと思っています。

住宅についても、皆さんそれぞれ思いがあるかもしれませんが、町営住宅も古くなっている一方で、なかなか入居者がいない。所得の関係があるので。一方で、若い人は住む場所がない、宅地もないということもあります。そういう定住対策をきちんとしなければいけないかなと思っていますし、産業振興について基本は、まずは町内なので、さくらカード等を使って町内で買い物をしていただける仕組みの中でできないかなと思っています。

高校の話は先ほど言ったとおりです。

保健医療福祉のところで、日本一の子育て村の在り方と福祉施設の在り方と書いています。子育て村という看板に対して、どうなんだという意見もありますし、じゃあ、日本一とはどういう意味なんだと言われてもきちんと応えられないという今の状態があるので、もう一度、きちんと皆さんを議論しながら、こういうことをしてあげればいいのか、こういうことをしていくべきだという話をしてからやるべきかなと思いますし、福祉施設も、医療も、子どもの関係もそうですし、高齢者関係もそうですし、人手不足で維持するのが大変。

一方で、数字はあまり出していませんが、65歳以上の高齢者が増えているわけじゃないです。イメージ的にはどんどん増えているようなイメージがありますが、高齢化率45%でほとんど変わらないので、人口が減っている分だけは65歳以上の方の絶対数は減っています。長生きをされて健康寿命が延びてきているので、地域で活躍される方は多いですが、そういう意味では、福祉施設をどうしていくのかということを考えていかなければいけない時期かなと思っています。

先ほど言ったとおり、元気で長生きされる健康寿命が延びたのであれば、老人クラブだとか一人暮らしの世帯も非常に多いです。そういう方々のつながりや100歳大学と書いていますが、学びの場であるとか、つながりの場とか、どういう名称がいいかはあるんですが、公民館活動や生涯学習とも連携しながら、つながっていければいいと思っています。

その下には、人間ドックとかいろいろ書いていますが、皆さんが年齢的に65歳以上の方が多いいんだと思いますが、ごめんなさいね。元気に暮らせているのは、今までの生活習慣とか検診を受けてきたとか、そういう積み重ねなんだと思います。邑南町がいいのは、全般的に医療費が比較的安いんです。皆さんが払うのも少ないんだと思います。それは今までの検診や保健師さんの活動の成果だと思うんですが、町にとっても負担が少なくて良いことです。そういう良いことは、続けていきたいので。特に40代、50代の方は、なかなか検診を受けてもらえない。全体の実績が低いので、そういうところは少し向上させたいなというのと。

ちょっと話が言ったり来たりしますが、地域で担い手がいないとか農業をする人がいないというような心配を受けるんですが、邑南町は、20代、30代で地域おこし協力隊という形で来ていただいて、ブドウをつくっていただく方も多々おられます。若い人がということで企業でも後継者が増えて。個人でなければきちんと健康診断があるんですが、個人事業主の方たちは、20代には検診案内がないです。抜けている部分についても、きちんとフォローしながら、皆さんが長生きできて、この町で健康に暮らせる仕組みをつくっていききたいと思っています。

ちょっと飛ばして最後ですが、一つは職員の副業と書いています。地域の手が足りない中で、もう少し邑南町の職員の方にも地域に関わってほしい、出向いてほしい、いろいろな思いがあります。皆さんが窓口にくると、今の役場の人、誰かよくわからんという感じがあるんだと思います。職員の方にとっても、なかなか親し

くしゃべれなかったり、行き違いがあったり、負担なことも多いです。そういうのもいろいろなことを兼ねて、今、地域に出るのは全然、何も問題はないですし、副業やアルバイト的なもの、お金をいただくということもきちんとルールに基づけば、今はやってもいい。たぶん昔からよかったんだと思うんですが、公務員は副業をしてはいけないわけじゃないです。そういう意味で、地域のことに関心を持ってもらいたいとか、職場でも、その結果、他の課の仕事にも関心を持っていただくということが皆さんのためにもなるし、個々の能力の向上にもなるんだと思います。少し前向きに進めていきたいと思っています。

最後ですが、定期的な住民の会の開催と書いています。こうやってたくさん来ていただきました。毎年一回、必ず公民館単位で町政座談会が開ければいいと思っています。それ以外にも、女性の会などが良いかどうかは別にして、地域だとか女性だとか、いろいろな形で皆さんが参加できる場、つながる場、意見を聞ける場ができればいいと思います。

こういう会を開催する意義は、今日はたぶん職員側と皆さんとで見て、日和の中なので知らない人はそうそういないかもしれないです。一方で、職員側や私たちから見て、絶対に皆さんの顔が一人ずつわかる自信はあまりないです。たまに、あの人誰だろうというのは矢上や中野ではあります。せっかく出てきていただいた会で、人材発掘という意味で、私たちにとってもありがたいです。これからいろいろなことをお願いするのに、いつも決まった人じゃなくて、違う人だとお願いしやすいですし、「この前会議に出ていたあの人に頼んでみんさい」とか言われると、非常にありがたいということで、町に関わる人を増やしていきたい。いろいろな意見を聞くために関わりやつながりを増やしたいという意味では、まず第一歩として、こういう会を積極的に開催できればと思っています。

いろいろなところを飛ばしながら一方的にしゃべりました。足りなかった部分もあるかもしれませんが、意見交換や皆さんの質問の中で答えていければと思いますので、まず冒頭、私からのあいさつは以上とさせていただいて、教育長からまた皆さんに少し説明させてください。

2. 教育長あいさつ

皆さん、改めましてこんばんは教育委員会の大橋でございます。日頃は、学校の活動であったり、公民館活動に積極的にご参加、ご支援いただいております。この場をお借りして、まずもってお礼を申し上げたいと思います。ありがとうございます。

私から一点、カラー刷りの資料を用意いたしました。全面カラー刷りの方を表にさせていただいて、少し説明させていただきたいと思います。これを全て説明すると時間が非常にかかりますので、今回はキーワードを中心にお話をしていきたいと思っています。このことは、令和8年度、来年一年かけて地域の皆さんと学校と共に協議をしていきながら、その土地に合ったものをつくり上げていって、実際には令和8年度から導入していきたいと思っています。

何かと言ったら、全面印刷の左上、コミュニティスクールという横文字が出てきていますが、このことについて少しご説明申し上げます。そのページの中ほどあたりに、コミュニティスクールとは、学校運営協議会を導入した学校と四角囲いで書かれています。では、学校運営協議会とは一体何かというと、邑南町はもうすでに

学校、地域との関係性が良好だと思っております。学校の思いをしっかりと地域で汲んでいただいて、何とか実現してやろうというところでご協力いただいていると思っております。そういった関係性がある地域ですので、このコミュニティスクールはスムーズに移行できるのではないかと思っております。学校というのは、校長先生が替わられると雰囲気も変わって参ります。しかしながら、子どもの教育は普遍的であると言われております。それを安定して教育制度をつくりあげていく。つまり、このコミュニティスクールは今までご協力いただいたものを少し整理して制度化していくものであると思っております。また、現在、学校は以前が学校完結型の教育中心に行ってきております。今は、地域の皆さん、家庭と共に、協働の基に子どもたちを育てていくが本流でございます。そういったものをしっかりと制度化していこうということでございます。

その協議会の中で、今までと違うところでいくと、今度は右のページに移動していただいて、四角囲いの一番上です。今までは、校長先生が学校の考えを地域の皆さんにご理解いただいていたかと思いますが、この協議会では学校の考え、校長先生の考えをまずもって地域が承認していくという作業が初めて出て参ります。ということは、この協議会の中でそういった場面ができますので、しっかりと地域の思いを学校に伝えていきながら、同等の立場でウィンウィンの関係で子どもたちを育てていくという場面が初めて生まれてくるのではないかと思っておりますので、まずもってこの協議会、学校の考えをしっかりと共に考えて承認していくという作業でございます。

右の下の方になります。邑南町はどのようにこのコミュニティスクール、協議会に期待しているのかというところでございます。以前、地域学校であったり、300人委員会、1000人委員会等で、地域の思いをしっかりとお伝えいただいた場面がございます。その延長上にあるのが、この協議会であると思っております。いいかなと思っておりますので、ぜひ設立の際には、この協議会の中で学校と共に思いを共有していきながら進めていきたいと考えております。

最後になります。めくっていただきまして最後のページです。一般的にコミュニティスクールのメリットと四角囲みで二つあります。上の四角は学校から見たコミュニティスクールだと思っております。つまり、地域と共にある学校づくりを学校が中心で行っていたときのメリットが、そこに中ボツでいくつか示されております。一方、その下ですが、地域側にとって学校と共にということで、今度は学校を核とした地域づくりで、地域づくりの一役を担っていくのではないかとということで、メリットとして挙げさせていただいております。

邑南町としては、よく小学校単位でこの協議会というのを設立していくわけですが、中学校の場合は小学校6年間と中学校3年間の9年間をしっかりと接続していこうというところで、この協議会につきましては、中学校区を中心に持ち上げていこうということで、9年間の出口の部分の部分を皆さんと子どもの力を共有していきながら、高校に向けてあるいは、将来に向けて送り出していこうという体制を組めればと思っております。また一年かけてしっかりと協議させていただこうと思っておりますので、その節はいろいろ忌憚のないご意見をいただければと思っております。私の方からは以上でございます。ありがとうございました。

3. 意見交換

大賀総務課長 それでは、意見交換の時間にさせていただきます。本日お越しいただきました皆さんからご意見ご質問をいただきたいと思っております。手を挙げていただきましたら、マイクをお持ちしますので、少しお待ちいただけたらと思います。それから、一回のご発言の時には、お一つずつ、ご意見ご質問をお願いしたいと思います。もう一つ、二つある場合には、また次の機会をお願いしたいと思いますので、よろしく願いいたします。それでは、どなたからでも構いません。よろしく願いいたします。

一番先に言うようなレベルの質問じゃないんで、本当は最後頃に言いたかったんですが、なかなか手が挙がらないのですみません。この一年くらいずっと思っていたことなんですけど、今、ここに執行体制というのが、今日もらった資料の中にありまして、各課の名前ですね。名前が非常に長い課もあれば、言いにくい課もありますし、それから内容がイメージしにくい中で、昔がいいとか悪いじゃなくて、私もですが特に高齢者にとっては、町民課と聞くとイメージが湧くと思うんです。今、財務課になっていますが、財務にしても財政にしても、そういうふうに言われるとある程度イメージが湧くと思うんですけど、例えば、資産経営課とか、情報みらい創造課、私は一年かかってようやく言えるようになりました。どうだったかいな？と思いながら、もう一つの地域みらい課とごっちゃになって、何でみらいが二つもつかないとけんのかね？と。

それから、その意図が分からないんです。きちんと、こうだから一番いいだろう、この名前がというような根拠がある程度分かれば、まだイメージが湧いたかもしれないけど。そこのところを私たちが説明を聞かなかったのがいけなかったのか、言われなかったのか、そこは私も自信がないんですけど、イメージが湧きにくいんです。そうするとやっぱり役場が遠くなるんです。水道課とか保健課とか、こういうのは何となく。

それで、医療福祉政策課って、最初に電話をしていたときに、邑南町役場医療福祉政策の〇〇ですと、丁寧に言われるんですが、何を言っておられるのか、なかなか聞き取りにくかったです。本当に丁寧に自分の名前も言われて。最初は職員さんもすごく言いにくそうでした。医療福祉政策課というのは、何となく気持ちわかるなと思いながら聞いていました。また、学びのまち総務課、学びのまち推進課、これもどっちが学校関係だったかな？どっちが前の生涯学習の方だったかな？どっちに電話すればいいかイメージが湧かないんです。これは、私だけかと思って、巷で聞いてみますけど、皆さん同じような意見なんです。私が聞いたところでは、こんなもの簡単ですぐに覚えられるわ、すぐわかるわという人はあまりおられなかったように思います。

なので、新しい町長さんがされたわけでもないし、前におられる方がこれをつくられたわけでもないと思うんですが、もし本当にこれでいいとしたならば、きちんとしたことを教えていただきたいし、できればわかりやすい課名にしてもらった方が、町長さんが言われるように住みよい町づくりのほんのちょっとのことかもしれない。本当はもっと大きなことの住みよい町づくりだと思うんですが、でもその小さな一点にもこれはなるんじゃないかなと私は思いますので、その辺りのことを少し考えていただいたら嬉しいかなと思います。よろしく願いいたします。

大屋町長 ありがとうございます。内容に指示があるみたいなのと、あとは最初

に言ってもらおうと次が出てくるので、その最初の一人が難しくて、こっちからしゃべってもらおうための準備しておけばよかったんだけど、ごめんなさい。ありがとうございます。

おっしゃるとおり、課がつくられたときに、議会の一般質問をしながら、結局最後に、役場が遠くなると言われたら、町としても思いはそこではないということで、いいことじゃないんだと思います。かっこ悪いかもしれんけど、言われたのは漢字二文字にして総務課とか保健課とか。言われてみればそうなんだと思います。就任して課長会議とかそういうところで話をしたのは、役場の組織を変えると、名前に始まって、事業に始まって、これを変えるための看板や封筒にお金がかかるので。

皆さんには本当に申し訳ないんですけど、もう2年我慢してください。それで、2年と言うのは、お金をかけるようにできるのが皆さんのためというが、まず職員配置を変えたり、仕事をきちんとさせてください。その中でちゃんと考えて、一回変えたら5年、10年は変えなくていいように。ここのところ、毎年、課の名前が変わっていたりするので、その反省も含めてこの2年間でしっかり考えさせていただいてわかりやすいように、〇〇課と漢字二文字程度にできるように頑張ります。思いもすごくよくわかりますし、今までの努力がきちんと皆さんに伝わってなくて成果がでていない反省も含めて、きちんと準備をして、体制も整えて、行財政の仕事内容も見直しながら、皆さんのためになる名前と役場の仕組みにしますので、2年、すみません我慢していただければと思います。よろしく願います。

大賀総務課長 ありがとうございます。ほかにはございませんでしょうか。

今の質問の付随で一言。議会をテレビで見せていただいております。その中でも、今のように総務課とか町民課とか、福祉課ならいいんですけど、今の議長さんにしても質問される方にしても詰まって、呼び方が大変に聞きづらいようなこともありますので、昔の総務課とか教育委員会とか、社会教育とか、福祉課とかいうふうにやってもらえれば、私たち高齢になったものが助かります。一つよろしく願います。以上です。

大屋町長 ありがとうございます。選挙のときもそうなんですけど、こうやって皆さんとお話しながら、ど真ん中におってよく慣れておれば、何とも思わないけど、言われてみれば、確かになど。あとは、道の白線とか駐車場の白線とか。昼間で天気が良ければ、何とも思わないけど、雨の降った夜とか不慣れなところに行くと、線一本で安心感が違うとか、いろいろあって、やっぱり皆さんに言われてみて、初めて気がついていちゃいけないんだけど。

12月議会でも、漆谷議員さんの日本一の子育て村の看板がくすんどると言われて。自分のものだ、皆さんと使うものだ、町のものだと、一つずつ見ればちゃんとわかるんだけど、つくってしまえばおしまいを使うわけでもないしという感じで。気がつかないところがたくさんあるので、細かいことでもいいので言っていたかと。また、皆さんの前で言っていたかと問題が共有できてすぐにできなくても何回か言っていたかだけでも、副町長も教育長もおられるので、意識がついてくるので。細かいこと言っても無駄と思われるかもしれないですが、極力、どんなお話でもいいので伝えていただければ大変ありがたいです。ありがとうございました。

大賀総務課長 ほかの方、いかがでしょうか。

先ほど、ここにおられるのは65歳以上がほとんどだと思います。町政座談会をしていただくのはすごく結構です。先ほど言われたように未来と考えると、私たちの未来は、墓場をどうするかくらいの未来ですので、30代、40代、50代を踏まえた町政座談会、女性も然りですけど、そういうのを計画してもらって若い人の意見をもっともっと聞いていただけるような場所づくりをしていたければ嬉しいかなと思います。

大屋町長 皆さんに未来がないわけじゃないですが。先ほど言ったとおり100年なので、100歳までという中では、まだまだという思いがあります。

ただ一方で、最近そうやって言っていたのが、若い人の意見をということ、聞いてみたけど、実際、石見はここが最後ですけど、30代、40代の人にはどれくらい？と言われたら、本当に数える程度です。思ったより出てきて頂けないです。時間設定の問題とか、いろいろなことがあるんだと思いますが、そこは反省として準備させてください。

もう一点、今、総合振興計画という町の基本となる計画をつくり直しています。その中でも、公募委員さんの中でも自分も出るけど、若い人の意見を聞くべきだとか、18歳以下とか高校生の意見を聞くべきだということをたくさんいただいています。

極力こちらからお願いできる場面があれば、若い人とか子育て世代とか、ちょっと大変かもしれないけど、声をかけようと思っています。その声をかける前提として、やはり、こういう会とかいろいろな行事に関わっていただく中で、こちらから声がかかりやすいですし、人もわかりますし、また皆さんに相談したときに、あの人どうだ？と言っていたと、もっともっといいかなと思います。極力若い人の声を聞くために、お互いに協力できればと思います。ありがとうございます。

若い人は自分たちの好きなことをやる時にはすごく集まるんです。だからこういう会合のときには、なかなか出てこないのが現状ですので、これは長い目で見てもらって、例えば若い人が集まる所に行ってもらおうとか。日和でも30人くらい若い人がおられますので、全員が来られるとも限りませんが、10人でも5人でも、もし来られたら、そういった意見を聞くようにしていただければ、まだまだこれから邑南町が変わっていくんじゃないかと思います。私たちはこうやって現職をリタイアして、ある程度、暇がありますからこうやって来れますが、若い人たちは平日には仕事をしていますので、来にくいのはわかるんですが、そのところを何とかして意見を聞いていただくような努力をしていただきたいと思います。

大屋町長 ありがとうございます。さっき言いました総合振興計画をつくって、できた後にアンケートというか、町として頑張っているつもりだけど、どう感じますかというのをやらなきゃいけないという話をして、できれば簡単でもいいので、毎年したい。やり取りがネットとかであれば良くて、PTAだとか保護者だとか、いろいろなところに声をかけて保護者の方にも参加してもらいたい。一番大事なのは、今日、皆さんにも出てきていただいていますし、アンケートとかやったときに、答えたり参加したら、少し町が変わったとか。自分たちに良いことがあったという繰り返しをしないと、出て行って意見を言ったけど何も変わらない。それじゃあ、離れていくので、そういった達成感とか、よくなるとか、参加すると良いんだよというのを実感してもらえるように工夫できればなと思って

います。またいろいろなところで相談させていただければと思います。ありがとうございます。

大賀総務課長 ありがとうございます。他の方もいかがでしょうか。

大釜谷の〇〇です。よろしく願いいたします。IP電話のことなんですが、うちの周りが特にそうなのかもしれませんが、雷が入って非常に故障しやすいというか、3回も4回も故障して度々来てもらおうようなことがあったので、最近そういう状況のときに部品がなかなか入らないというようなことで、修理が不可能な状況です。他の方にも聞いたんですが、うちも使っていないんだよと。せっかく無料で使えるものが使えていないという状況がありますので、今、どういう状況になっているか聞かせていただきたいです。

白須副町長 副町長の白須です。ありがとうございます。IP電話のことでご質問いただきました。このIP電話のシステム整備をして、もう10数年、経っておりまして、部品交換ができない。今あるものを再生産していないということで、かと言って、全部システムをやり替えるということまでは、今は財政的にも非常に難しいということもあって。まず、交換をしていこう、在庫や部品、それからIPのターミナルアダプターとか、あるものを交換していこうというように進めてきたんですが、いろいろ工夫して在庫も確保しながら進めてきたんですが、その維持も、今は非常に難しい状況です。

それで、去年の春から皆さん方にもご協力をいただきながら、IP電話自体をちょっと見直しいただけるところは、元のNTT回線に戻すとかできるところには、そういったことの協力をしてもらいたいと、今、お願いをしております。

根本的な解決になっていないんですが、今、そういう対応を取らざるを得ない状況です。このシステム、ケーブルテレビと一体で、町として将来もしっかりと維持していかなければいけないと思いますので、その中で、このIP電話の対応については協議して参りたいと思います。現状としては、そういう状況でございます。

大賀総務課長 ありがとうございます。他の方はいかがでしょうか。

すみません。元NTTなんですけども、私が退職してから最近の情勢では、一般電話がIPに替わっています。ですから、東京の方へかけて200円、300円かかっていたものが、10円でかかるとか。そういうシステムに今、取り替えをしているという情報がありますので、また、そういうところも調べていただいて、今のこの個別のIP電話が必要かどうかというのは、ちょっと調べられた方がいいかなと思います。

白須副町長 はい、わかりました。いろいろな技術が日々、刻々と変わっていますので、そういった情報を入手しながら、今後の対応を検討したいと思っております。

大賀総務課長 ありがとうございます。他の方はいかがでしょうか。

お願いいたします。いわみ温泉が今年の4月から再開されるということで非常に喜ばしいことで、私も喜んでいる者の一人です。その中で、周辺の頑張っておられる温泉地域をみますと、邑南町の一番滞在の期間、時間を設けるには、やはり風呂だと思えます。そこで、再開されることは非常に良かったなと思っております。直近で4月ということですので、この周辺地域を含めて、指定管理者を含めた情報がわかる範囲でお聞かせいただきたいと思っております。

白須副町長 今の香木の森、それから霧の湯の指定管理の現在の状況についてで

す。昨年、指定管理者の募集をしまして、何件か手を挙げられた業者がありまして、そこを審査して来年の4月から、ここにお任せしようという業者を決定しました。それが、江の川さくらライン観光機構です。そういう複数の事業者が組織をつくって、そこに決定させていただきました。その代表が桜江町の今井産業さんです。その他にも、有福温泉とか、美又温泉とか、そういったところに関係する事業者がその機構に参加されておられまして、そういった方が合同で経営するということになっております。その提案を事前にいただいておりまして、その提案の中には基本的には今まであった香木の森公園の機能とか、各施設の役割というのは引き継いでいきたいということをございました。ですから、レストランとか特産品の販売とか、そういったものは基本的には今の施設で行われるんじゃないかと思えます。

ただ、人材不足ということもありますので、いろいろなことを工夫しながらやりたいという提案がありました。例えば、その中の一つでいいますと、料理については、そこで料理を提供するのと併せて、できれば加工品開発も実施していきたいと。レストランで調理するところで、加工品としてつくっておいて、それを提供する。それは地元の食材です。つくったものを加工品にしてそれをその施設で提供する。あるいは、特産品として販売する。そういったことに取り組みたいという提案がありました。これは4月からすぐというわけにはいかないと思いますが、その他にもいろいろな新しい提案をいただいておりまして、期待しているところがございます。

それから、温泉につきましても、薪ボイラーで湯を沸かすというシステムを新しく取り入れております。地域にある資源をしっかりと活用して、光熱費を落とすということももちろんですが、脱炭素などの動きにも対応した施設になるんじゃないかと非常に期待しておりますので、どうぞ皆さん楽しみに再オープンを待っていただければと思います。よろしく申し上げます。

丁寧な説明ありがとうございました。振興の流入に一つ、町としてもよろしく願いたいします。

大賀総務課長 ありがとうございます。他の方がいいでしょうか。はい、どうぞ。

すみません。ちょっと、2、3お願いしたいんですが。まず議会の様子をテレビで見させてもらって、農政会議でお願いに上がったところ、早速、漆谷議員さんから人材確保の点で、外国人の技能実習生のことについて町でも取り組みをしていくということで回答をいただきましたので、ぜひお願いしたいと。

邑南町の中でも技能実習生を受け入れている会社が9つくらいあるんじゃないかと思えます。大きいところと言えばワイテックさんとかありますし、農業関係で言えば、日和で坂根牧場さんもありますし、日貫の養豚場でも、確かあったと思います。各地でありまして、それぞれ受け入れるための管理団体というのがありますが、これは全て違います。同じところはないんです。その管理団体によって、管理料が違ってきます。例えば、最初は広島管理団体をお願いしていたときは、一人当たり3万円を毎月、支払わないといけないので。だけど基本的に管理団体は、毎月受け入れ団体へ訪問して、様子を見てきちんと調べて帰らなければいけないのが任務になっているんですけど、その広島の業者は、年に2回か3回くらいに来ればいらいだったんです。今は出雲の管理団体に変えたら、ここはきちんと真面目に来る団体なんです。そういったところから始まって、いい加減なところもいっぱいあるんです。その管理団体の方針によってやり方も変

わってきたり、ちょっと法律に違反しているようなところもあったりするので。

なかなか行政が絡んでやっている自治体というのはあまり聞いたことがないので、今は民間に任せているという実態だろうと思うんですが。そういう中でやっているところで、かなり問題も多いところがあるので、国もかなり手を入れて法律を今、変えて、去年変わったので、2年先で就労育成制度が変わりますので、これになると管理が厳しくなると聞いておりますので、今みたいないい加減なことにはなっていないだろうと思いますが。

町も少しその辺りを研究していただいて、町内のそういった団体が何力所あって、外国人が何人来ていて、休みのときにどんなことをしているか、そこまでの把握はちょっとできないと思うんですが。いろいろなところから来ますので、生活習慣も違います。考え方も違うところがあったりして、我々も気を付けておりますが、目の届かないときに他県に勤めている男性が遊びに来たりというようなことも今まであったので、その辺が管理できないのも難しいところなので、ちょっと関心を持っていただいて、いろいろ事件が起きてもいいけんの、そこは情報提供でお願いしたいと思います。

それで、中山間の直接支払いの合議が終わって、始まってから25年経つんですが、まさかここまで農地が最悪の状態になってくるとは僕自身も思っていなかったんですが。その当時、僕もまだ30歳過ぎだったんで、米代は安くなったけど、何とか維持できるんだろうと思っていたんですが、ところがどっこいで。私も今年で65歳になりますので、ほぼ他所の農地の維持は集落の中でも無理になってきているので、どうしたものかなという思いと。

それから、我がところの経営です。きのご栽培を始める前に、副町長がおられますけど、あの当時補助事業の中でいっぱいお世話になって導入させていただいたんですけど、あれから29年目になるんです。施設もまだ十分使える状況なんですけど、後継者の問題が差し当たってあるわけで、うちの場合は、埼玉の方におりますので、とてもすぐに帰ってくるような状況にはないと。だけど、こっちも65歳になって、身体がもう持たないところに差し掛かるとるわけです。施設は辞めて空き状態にしておくのも、もったいないし、今まで29年間、自分なりに技術的に確立してきたものをゼロにしてしまうのも、もったいないですし。

ちょっとインターネットで調べたら、家族の事業継承もあって、他人ではないかなと思って見たら、他人も何かあるみたいで。例えば、うちに実習で入っていて、3年先にはそこの事業を継承する。それで、施設も全部移譲して与えてしまうというようなことを、今後やっていく状況が出てくるかなと思うわけです。町としてその辺の取り組みを、これから先、どんな考え方を持っておられるかなと。ちょっと取り組んでいただきたいような気もするし。

あとは、うちみたいなんじゃないなくて、いっぱいああやって来ているので、それを集約化しながら、斐川平野みたいなことにはならないかもしれないんですが、農地の整備を再編して集約して他人の農地を継承してやってくれるような人を。例えばですが、アグサポ隊とか、地域おこし協力隊で来ておられますが、そういった方にマッチングしてもらって、3年ほどおったら帰るんじゃないなくて、この町内で遊休農業施設があるし、機械整備とかは当初は何かしてやるからみたいな感じで、経営移譲していけば、荒れる農地も若干は進まないのかなという気もしますし。

今、ブドウの神紅の栽培とかピオーネとか、シャインマスカットとかあるんで

すが、ピオーネも20年近くなりますかね。そうすると井原で〇〇さんも、年齢も60歳近くなってくると思うんですが、家族で経営移譲すれば、それでつながるんですが、もしそれがなければまた遊休地になるということもあると思うので、将来的にそういった農家も増えてくるんじゃないかと思うので、他人に経営移譲とかいうのも、国の事業も活用しながら考えていただければいいかなと思っております。

それと、日和に食の学校があるんですが、今、いろいろと活用を考えておられると思うんですが。これは単純に私が思うことなんですが、さっき言った神紅のブドウとかあいう果物が何種類かあるので、町内でも県外、全国に諮ってもいいんですが、スイーツのレシピコンテストみたいなのがあって、その中の優秀作品を食の学校で発表してもらおうとか。プロでもアマでも参加してもらえれば、町内にプロのお菓子屋さんもおられるので、そこら辺の商品にもなれば、また違ってくるんじゃないかと思えますし、地域の農産品のPRにもつながっていくんじゃないかと思っています。

我々も椎茸でやっていますが、全国産別生産協会というのが、全国1500人くらいの会員がいて、毎年レシピコンテストを全国にPRしてやっていますが、毎年100件くらい応募があります。超簡単レシピで15分で電子レンジを使ってできる料理みたいな、ある程度の制約をつけてやっていますが、毎年それくらい集まってくるので、やっていけば、いろいろなアイデアが出るんじゃないかと思っています。

それから、今日は振興協会の〇〇会長さんは来ておらんのだけ。すみません、灯台もと暗しで。

日和にありました農協の店舗と給油所がビレッジブライドさんでやっていただいていたけど、なかなか経営が成り立たないということで撤退されて以降、日和地域で買い物のできる場所と、問題は給油所がなくなってしまったということで。日和の地域で何とか級友所を運営できないかという協議もしましたが、試算したところ、とてもじゃないけど無理だと。値段もJAの井原給油所は安売りができるんだけど、あそこから日和に供給してもらう値段は、そういうわけにはいかないみたいで、安くやっても大丈夫ですよと言うけど、経営が成り立たないので、売れる量が出ていかないの、そうすると無理なので。今後、どうしたものかなというところがあるんだけど、答えは出ない中で、今、動いているんですが。

とりあえず農協の店舗を何とか活用できないかということで、あのまま空き部屋にしてもやれんので、日和の振興協議会で、この前、臨時総会を開いてもらって、地域で活用していこうということで、話をさせていただいたところです。それに付随して日和に公衆トイレがないので、JAの店舗にはちょうどトイレがついているので、それもあるから、何とか借り上げできるように動いて、前に進むことができたんですけど。今後はこの活用の仕方を地域でいろいろ考えていかないといけないし、家賃も払っていかないといけないので、その財源を確保するのも大変なところもあるので、これは地域で何とかしていこうということで動いています。

これは日和に地域に限らず、邑南町内でそういった地域も出てこうようかと思いますが、その対策ができるとすれば何か考えていただければと。財政が非常に厳しい中なので、それは厳しい話になるかもしれないですけど。

それから、これは中山間の7年度からの新しい説明会を今度やられる予定なんですが、日中は出られないし、18時があるのはあったんですが、その日程が合わないのので、できればケーブルテレビで録画を撮っていただいて流してもらってそれが見られるような状態にさせていただけないかと。最近では会議に出られないと、ズーム会議とかいろいろありはするんですが、ケーブルテレビで録画して見られるようにしていただいて、資料は役場のホームページからダウンロードできるようにしていただければ、仕事が終わって夜にでも見られるかなと思いますので、ちょっと検討してみただければと思います。

すみません、いっぱいいろんなことを言って。まだありますが、もう止めます。大屋町長 簡単に答えさせてください。町長の立場なので、そうですね、やりますと言えばやるになっちゃうんだけど、なかなか予算のこともあるんで、思いはあるんだけど、できないことも多々あります。「そうですね、やらんといけませんね」とあちこちで言うておけば、副町長も教育長も総務課長もおられて、職員もおられるので、だれかが気にして、どこかで何かと引っかけてくれて、また皆さんからもこうすればいいよねと言っていたらと思うので、極力いろいろなところで言っています。そうすると実現しやすいかなと思うので。

問題の共有ということで、外国人の話は、町の総合振興計画をつくる時に雇用だとか教育だとか、そういう面での話と、〇〇さんが前に言われたとおりの話をしています。ちょっと、お話中にスマホをいじってごめんなさい。そういうことの応援をお願いするのは、行政書士だったかなと思ってちょっと調べたんですが、そういう会とかも一緒になりながら、きちんと対応できればいいですし、県人会とか県外に出たときに、島根にも邑南町にも縁がないんだけど、いろいろなつてで来られている会社は聞きます。この外国人派遣の管理団体の方です。接点を持って、これからいろいろなところにつながりを持ちたいみたいな。今、非常に重要だし、いろいろな面で町も関わっていかないといけないしということで、今日もちょっとそういう話をしています。

自分の経営のお話もされた中で、タイミングもよくて、西部農林振興センターの所長さんが来られているいろいろな話をされていて、後継者の話をしたときに、後継者がいないという話をされるけど、地域や兼業であったり、専業でやっている人からそういう話を聞かないですよという話をされていて、そういう対策はあんまりしてきていなくて、今日、初めて具体的に言われたんです。

辞めると技術がなくなるとか、せっかく培ってきたものがこの地域からなくなるとするのは町としても損失なので、後継者をというところは、望まれるならしっかり応援したいなと思いますし。たぶん第三者移譲が一番いいのかな。研修生で来てもらってそのまま譲りますという。その人は、移譲も含めて、新規になれば支援も受けやすい、家族は新規とは言わないので。家族で補助があると言われると、家族で息子に譲っても新規扱いとして整備できますというのが出たんだと思います。そういう中でお声をいただいたので、残す為の努力として町も考えられればと思います。

中山間は、冒頭にも話をしたんですけど、これだけ米が高くて、空いた土地を見て、これを来年つくと儲かるじゃないかと思わないということは、意欲だとか年を取ったのかなと思うので、後押しという意味もありますし、そういうところでしていただける人たち、邑南町として農業をする人はいないんですが、神紅などでたくさん来ておられて、まだ地域に関わる余裕がないので、ブドウのハウス

だけやれば生活が成り立つ中で地域に関わる余裕が出れば、田んぼという方法もあるかなと思っています。

最初からそういう方を呼ぶというのも手だし、地域貢献という形で、地域おこし協力隊の方がいてもいいと思うんですが、今、すごく景気がよくて初任給も高くて給料も高い時代に来てもらえるかというものがあるので、またタイミングを見たいかなと思います。

最後のいろいろな説明会をケーブルテレビで録画して流せば、地域の人も皆見られれば、いい話だなと思いました。これはできないわけじゃないかなと。ちょっとお願いして工夫できればいいかなと思います。

スタンドの話とかいろいろと。あとは、食の学校は、すみません。ちょっと邑南町として今、あの建物をどうしていいか悩んでいる最中です。皆さんがどこまでご存じかわからないですが、建物しかないです。中に調理器具はないです。

そうなの？

大屋町長 そうなんです。調理器具もあれば、いろいろなことができるんだけど、ただ、〇〇さんが言われた食の学校というソフト面と建物の話は別なので。

今年、米の食味とかいろいろしたんですが、あそこにホットプレートを持って行ったり、炊飯器を持って行ったりするんだけど、それなら公民館でもできるので。食に関する加工品開発だとか、あそこを使わなくてもできるので、それは継続したいです。

日和の皆さんにご相談は、あの建物は町はお金をかけずに、調理器具を揃えるとかじゃなくて、食に関わることで皆さんが活用できる場があれば、ありがたいです。日和の中で店舗を含めて、これから先、店もなくなる中で。中心部と言えば中心部で、郵便局もあって人が寄るので、何かいいアイデアがいただければ非常にありがたいと思っています。使おうと思うとお金がかかるので、今のところあそこで何かするというのは難しいかなというのが今の現状です。そこも理解した上で、何か提案していただければと思っています。

公衆トイレの話があって、あちこちにトイレがあるけどきれいじゃなくてと、いっぱい意見をいただくので、何とかしないとイケんかなという気はしています。ただ、公衆トイレは誰が管理するかで、様式にしてウォシュレットで水洗にして、きれいにしてくれてすごく明るくして使いやすくしたとしても、なかなか誰もいないところは、いろいろな問題が起こりやすいので維持管理していただける保証があるところから少しでも改善するのが一つの手かなと思っているので。

何か言うと、総務課長が考えてくれるかなと思いますが。そういうわけじゃなくて、たくさん要望をいただいて、皆さんの関心が高いところなので、公民館が休みの日でも外で使えるということは、また工夫していきたいと思えますし、瀧田議員がおられるけど、4月は選挙があるので、選挙期間中にあちこちまわる時に、公衆トイレって意外と大事なもので、どこにある、どこにある、あそこはきれいだ、汚いとか情報共有しますんで、町も頑張りたいですと言うと応援してもらえるかなと思います。声が小さくなってすみません。

白須副町長 JAの店舗を使われることに対して何か支援をというところなんですけど、よくあるのが、直接支払い制度とか農地水ですとか、ああいった事務所に使って。

農地水の事務所で借りるように、今、入ったので。

白須副町長 そうですね。そういった事務費に充ててもらおうという方法が考えら

れるかなと思います。

自販機が2台あるので、自販機の収入で。

大屋町長 3台にしたらもっと儲かりますね。

いやいや。あれが結構あるので。まあ、かつかつじゃああるけど。

白須副長 地域の活性化協議会などで、国の事業なんかも導入して地域を盛り上げたいという活動に対しての補助事業もあるので、出羽もそれに取り組んでおられるんですが、また役場でも、そういう方向で進もうということになれば、何らかの人的な支援をさせてもらいますので、よろしく願います。

大屋町長 今、お話をいただいている。邑南町の中で小売店、お店はどんどん減っています。新しくいろいろなことをしようと思うのは、加工品だとか飲食店は多いんだけど、なぜお店やさんをしてもらえないのかなと思っています。

一方で、何を応援すればしてもらえるんだろうという思いがあって。町内の経済循環という中で、邑南町は減っている中でアベルさん、石見プラザさんは町内資本で、町内の人がされていて、逆にドラックストアのような、よくある全国チェーンのようなお店は入ってきていないです。そういう意味では、しっかり町内を支えたいというのと、外に買い物に行きづらくなってきたり、ネットとかも送料が高くなってきているので、必ずしも便利じゃなくなってきています。町が災害時の備蓄とか考えれば、やはりお店があった方がいいと思っているので、何かこういうことで応援してもらえればやりやすいんだとか、いろいろな経験だとか、こういうものを売る店があるといいとか、いろいろな声を聞かせていただいて。

少しでも今のお店を維持したいですし、移動販売なり、何らかの形でサポートできればなど。皆さんの生活が維持できるようにとは思っています。なので、またいろいろなアドバイスとかご意見をいただければありがたいです。よろしく願います。

大賀総務課長 ありがとうございます。他の方、ご意見やご質問を。はい、一番後ろの方願います。

後半になってですが、一点ほどです。これは町の所管ではないと思うんですが、日和川の河川に非常に葦が生えていて、私共はあと先しますので、気にかかるところでございます。日和川はご承知のとおり、一級河川でございますので、町の所管にはなりません、これは県の所管になると思います。取り次ぎをしていたたて、葦を刈り払っていただくと非常に景観がよくなると日頃から橋を行いますのに、気にかかるところでございます。

何が原因かわかりませんが、他の地区ではあまり川の中に葦がたくさん生えているというのはあまり見かけませんが、日和川は葦がたくさん生えております。こういったことで県の方へ現地を確認していただきまして、取り次ぎをしていただけたらありがたいと、こういうふうに感じているところです。以上です。

大屋町長 ありがとうございます。日和だけの話ではないので、どこも河川改修をして急流をなだらかにすると土砂が堆積をして、そのうち葦が生えだして、川の幅が狭くなってきて、水が広い川の片一方に流れて底をあらってみたい。特に矢上は、堤防の下から泥を吸い出すと穴が空くとか、放っておくとそうなるので、またそういうところも見ていただいて、教えていただいて。刈るよりは土ごと取る方の事業を順番にしている、他ではあんまり生えているのを見ないんだけどというところは、たぶん土を取り終わったところが多々あるんだと思います。なので、またその辺りも建設課でお話をしてみますし、順番にということ

で。

最終的に土を取るの、土を捨てる場所が近くであれば、一番、事業化しやすいという話も聞くので、またその辺も、地元の方に相談させていただくかもしれませんし、また場所を帰りにでも副町長にも伝えていただいて、特に心配な場所とか見せていただいて。どこもそうですが、きちんと対応できればと思っています。

国に対してもそういう予算を続けてきちんと確保してほしいという願いを、どこの市町もしているの、その予算の中で順番にできればと思います。ありがとうございます。

大賀総務課長 ありがとうございます。他には、ございませんか。はい、どうぞ。

すみません。日和では地域防災をつくっておまして、各自治会では年に一回防災訓練をされています。日和全体で3年に1回やっているんですが、これまで3回やっております。たぶん、今年が3年目なので、また日和全体での防災訓練をやりたいと思います。毎回、ちょっと言っているんですが、他所から来られた方、住宅におられる方のお名前とか電話番号とか所在がわからない。防災訓練ですので、日和全体でやる時にその人たちを除けにするわけにはいきませんので、一応、手紙を入れるようにしています。だけど、一度も出てきていただいたことはありません。もし何かあったときには、その所在をある程度、把握しておかないと訓練ですので、まあいいやで来なかったで済みますけど、本当の災害があったときには、知らなかったでは済まないような気がするの。

ちょっと、今、新屋くんの顔を見たんですけど。防災士の研修会の際に個々の連絡をしていいですかというのを問い合わせして、また各地区防災の方へするという話なんですけど、その後、どうなっているかをお聞きしたいんですが。覚えてない？一応、そういうのを防災士の訓練のときに言われたと思って期待して待っていたんですけど、何も返事がないので、ここで聞かせてもらおうかと思ったんですけど。今後の取り組みで、本当にそういうのを考えていただいた方が。日和は数名程度の方ですが、矢上や中野では、かなりたくさん所在のわからない方がおられると思います。

今、日和でやっているのは、災害が起きた時点で各班長さんに、個々に安全確認の連絡をしてもらいます。ただ独居老人とか、そういうところは個人情報のために、民生委員さんにしていただいております。そういう格好で3年に1回の防災訓練、それにプラスいろいろなことをやっているんですが、どうしてもこの中日和は住宅を持っている関係で、そこの自治会長さんは困ったというのが、確かにありますので、個人情報には確かに大事ですが、災害のときにどうするかということ、少し考えてもらって。所在のわからない人、せめて公民館なり、開示せずにそういうときに使えるようにできるとか、そういうようなことを考えていただきたいと思っていますので、よろしくお願いします。

大屋町長 お話を災害時の個人情報の取り扱いなんだと思います。またスマホを見ておってごめんなさい。僕は、完全にいいと思ったら、災害時はいいみたいです。

ただ、訓練時はどうするかということですよ。いざ、災害が起こったときには、町から個人情報関係なく、ぱーっと出して確認してくださいができるけど、訓練のときの取り扱いもありますよね。その辺も、総務課と確認をして訓練するときに案内を出すとか、個人情報の扱いはどうしますかということで、訓練

の時でも無条件でやってよければいいですけど、それじゃあ訓練にならないかもしれないし。

災害時の個人情報の取り扱いについて、もう一度、整理してもらってきちんとお示しをして訓練のときにはどうするかも併せて皆さんに、同じ情報を共有して同じ認識であるように。個人情報だけ何でやったんだ、いや災害時は別ですよと、訓練の時にはこういう許可をもらっていますとか、本人の同意を得て訓練するとか、ちょっと工夫させてもらって整理しますので、またお知らせさせてください。主旨はそれでいいんですよ。

はい。

大賀総務課長 では、今、町長が答えましたように〇〇さん、よろしくお願いします。

それでは、予定しておりました時間になりました。以上で閉会したいと思います。以上で閉会にあたりまして、白須副町長からごあいさつ申し上げます。

4. 副町長あいさつ

大変、長時間いろいろご意見いただきましてありがとうございます。時間が限られておりましたので、まだ質問したいという方もいらっしゃるかと思います。冒頭に町長が申しましたこのQRコードを読み込んでいただくか、あるいは直接FAX等をいただくこともできますので、またゆっくりご意見等を頂戴したいと思います。

現在、来年度令和7年度の当初予算の編成作業を進めております。大屋町長初めての予算編成なのですが、非常に厳しい中での予算編成となっております。例年、予算編成するとき、町長から来年の方針とか重点項目とかを示して、予算編成に取りかかるんですが、今年の方針は、財政再建ということで、なかなか思い切った取り組みはできない状況もございます。今まで行ってきた事務や事業の検証をして、見直すなり、廃止することになります。町民の皆さんの事業活動とか、生活にも少なからず影響が出る可能性もございます。そういったところでは、しっかりと皆さんにこうした理由でこう変わるということをしっかりと説明させていただきたいと思っておりますので、ご理解をいただければと思います。また、その際に、いろいろなご意見を頂戴することになると思いますが、そういった意見は、また再来年の予算編成の参考とさせていただきますので、しっかりとご意見をいただきますようによろしく願いいたします。

また、中長期的には小中学校の在り方とか、地域コミュニティの再編等を進めております。これらにつきましても、皆さんと情報を共有しながら、一緒に協働の立場で取り組んで参りたいと思っておりますので、ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

最後になりますが、今日は非常にお出かけにくいところ、お仕事お疲れのところでお集まりいただきました。天候も崩れているようでございます。お帰りの際には交通安全に十分注意していただいて、事故のないように帰っていただきたいと思っております。本日は長時間にわたりまして、様々なご意見をいただきまして、ありがとうございます。簡単ではございますが、閉会のあいさつとさせていただきます。

大賀総務課長 ありがとうございます。以上で、閉会とさせていただきます。ありがとうございました。